



はくほうWalker

No.3

広報誌名「はくほうWalker」
はくほう会セントラル病院は地域
住民や患者様と共に歩むという想
いが込められています。

老健はくほう

認知症ケア棟の開設



院内薬局開設

院内薬局開設レポート



看護部

看護部の活動
病棟からのお便り



入院ベッド数増床
248床→254床

地域包括ケア病棟 9月開設

伯鳳会グループ
合同防災訓練
実施レポート

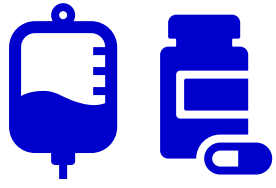
平成30年7月23日
警察・消防と連携し、
尼崎市内で災害訓練を
実施しました。

リハ部便り



心臓リハビリテーション拡充
通所リハビリ開始（介護保険）

院内薬局6月より開設



6月1日より、外来処方院内化スタート！
6月1日より診察後に院内の薬局にて、お薬をお渡しします。院内調剤になることにより、患者様には次のようなメリットがあります。

- ①カルテ情報の活用による患者様ごとの説明が可能となります。
- ②調剤手数料分の自己負担が減ります。
- ③病院内でお薬を処方しますので、お会計が1回で済み手間と時間を省けます。

お薬をお渡しするまでの時間を短縮できるように努めて参ります。外来薬局は東棟エレベーターホール横に配置しています。エレベーターホール前には待合用のアイランドソファを新たに設置いたしました。どうぞご利用ください。

※外来院内処方化に伴い、今まで調剤薬局で行われていました個別化対応に関して、一部対応が困難な場合がございますのでご了承下さい。

薬剤部紹介



薬剤部では薬剤師10名と薬剤助手1名で日常業務を行っています。

医薬品全てに関与し、患者様の薬物療法が円滑に実施されるよう日々業務に取り組んでいます。

主な業務

調剤業務：処方箋を基に、内服薬・注射薬・外用薬の調剤を行っています。内服薬は、基本的に全入院患者様に対して一包化（1回分のお薬を1つの袋に入れたもの）調剤を実施しています。また、処方された内容を電子カルテシステムでチェックし、患者様が安全・安心に治療が受けられるよう医師への情報提供を行っています。

薬剤管理指導業務：持参薬の内容を確認し、入院中に処方されるお薬の説明を行うと共に、薬物療法の安全性・有効性・副作用を確認し、各病棟のスタッフと情報交換を行っています。

「くすり」を逆から読むと「りすく」です。

薬は効果もありますが、時には思わぬ副作用などが現れること（リスク）もあります。安心してお薬を使っていただけるよう、薬剤部員一同努めて参りますので、宜しくお願い致します。くすりに関するご相談は、私たちにお任せ下さい。



はくほう会セントラル病院 「地域包括ケア病棟」

地域包括ケア病床は、平成26年に新設された病床です。

急性期の治療が一段落した患者様が、すぐに自宅や施設へ退院することに不安がある患者様に対して、医療管理を継続して行い、退院を目指していく病床です。

当院の地域包括ケア病床は29床を平成30年9月に開設予定です。自宅や施設、つまりは病院から地域へ復帰できるように必要に応じた医療を実施して参ります。

入院等に関するご相談は、当院の地域連携室にお問い合わせください。

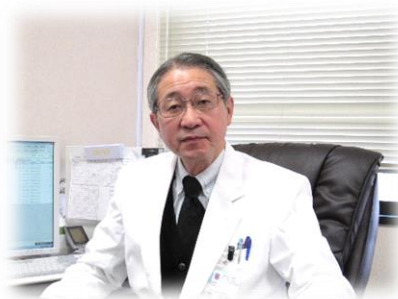


地域包括ケア病床開設にあたって

地域の皆様が安心してお過ごしいただけるように、当院は地域完結型医療を担うように心がけています。この度、急性期治療後の在宅復帰に向けた医療や支援を行うため、平成30年9月に「地域包括ケア病床」の開設を予定しています。

地域包括ケア病床は、急性期の治療が終了して病状が安定したものの、すぐにご自宅や施設等での療養に移行することに不安がある患者様に対して、在宅復帰に向けて、診療・看護・リハビリテーションを行うことを目的とした病床です。

医師・看護師・リハビリ療法士・社会福祉士などが協力して、在宅復帰に向けたサポートをさせていただきます。



院長 古賀 正史

地域包括ケア病棟 平成30年9月開設

入院病床数の増床。全体で254床に！！

はくほう会セントラル病院は、平成30年9月に入院ベッド数を増床します。回復期リハビリテーション病床140床、急性期病床66床、療養病床19床、そして新たに地域包括ケア病床29床を加えて合計254床へと規模を拡大します。あらゆる状態の患者様を、より積極的に受け入れることができる体制を整えました。254床の入院ベッド数で稼働し、地域医療に貢献します。

中央5階 47床

中央4階 47床

中央3階 46床

合計140床

4階B19床

(医療療養病床)

4階A29床

(地域包括ケア病床)

3階 45床

(急性期病床)

2階 21床

(急性期15床 HCU6床)

合計114床

中央棟（回復期リハビリ病床）

東棟（急性期・地域包括ケア病床・療養病床）

看護部 病棟からの お便り

看護部からご挨拶

今年度より看護部管理を行っている看護部長代行の清水です。よろしくお願いします。

私たち看護部は「LOVEある看護」という看護部の理念を基に、日々みんなで話し合いを行いながら業務に取り組んでいます。

理念にあるように、まずは患者さんに「愛」を持って接することが大切です。また、科学的根拠を持った看護が提供できるように学ぶことも大切です。そして、患者さんお一人お一人にとって、良いゴールを導き出せるように考え、話し合いながら頑張っています。

看護部の看護師は同じ資格者ですが、それぞれに得意な分野、不得意な分野があります。不得意な分野は、得意な看護師が補うように努めています。看護・ケアはチームです！私たち看護師は、いつもチームをまとめる

要の立ち位置を担い、チームの力を最大に発揮できるようにして、患者さんにより良い医療を提供できることを目指しています。



看護部長代行 清水 一

看護部の理念

『LOVE(愛)ある看護』を患者様に提供します。

L: logical thinking 論理的思考

O: outcome 結果

V: vista 展望

E: evidence 根拠

常に中心に患者様がおられることを忘れず、論理的思考をベースに根拠に基づいたケアを提供できるよう、目標となる展望を描き、スタッフ皆で力を合わせて、必ず結果を出すという意味をこの4文字に託しました。

一般外来

1日平均患者数は約150人と、多くの患者様に来院いただいています。私たちは、外来診察介助、化学療法や放射線検・内視鏡検査の補助、その他様々な検査の補助を行っています。血管造影（心臓・脳）検査や緊急の治療の補助もを行っています。

救急外来

365日24時間対応で地域の救急受け入れを積極的に行っています。

手術室

3部屋あり、消化器外科・整形外科・脳外科の緊急手術にも対応しています。看護師（常勤・パート）・看護助手と共に、頑張っています。患者様が安心して検査や手術が受けられるよう安全で親切、丁寧な対応を行っています。



HCU（高度治療室）

HCUは6床で運用しています。

HCUとは「high care unit」の略称で高度治療室のことで、高度で緊急を要す医療を行うための病室です。よくテレビに出てくるICU（集中治療室）と一般病棟の中間に位置する病室になります。手術後の患者様や呼吸器や循環器に障害をきたし緊急入院が必要な患者様、院内の他病棟での急変や状態が悪化された患者様などが入室されています。何かご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にお声をかけてください。

東2階病棟

東2階病棟は、急性期病棟です。診療科も多く内科・消化器内科・外科・循環器内科・脳神経外科の対象患者様の入院を受け入れる病棟です。入院が多い病棟でもあり、心臓カテーテル検査・外科手術等を円滑にかつ確実に実践し安心・安全な看護ケアを行う事を最優先に行っています。緊急入院をされる患者様が多く、苦痛や不安が軽減できるように看護師スタッフ一丸となり、気持ちに寄り添う看護を提供しています。昨年から心臓カテーテル検査患者様の負担を軽減できるように研究を行っています。今ではこの苦痛緩和方法を全国に発信できるまでになりました。今後も患者様の気持ちに寄り添った看護を提供できるよう取り組んでまいります。



東3階病棟

東3階病棟は、整形外科・内科・循環器内科・外科・脳外科の50床の急性期病棟です。様々な病院や診療所で経験を積んだ20代～50代のスタッフが、多岐にわたる急性期看護にあたります。また、急性期の治療だけでなく、ご自宅や施設に戻られた後の生活まで考え、退院支援を行っています。

スタッフ同士はコミュニケーションがしっかり取れており、とても雰囲気の良い病棟です。



東4階病棟

東4階病棟は療養病棟で、明るくきれいな病棟です。長期療養の患者様が多いため、患者様及び家族様とのコミュニケーションを大切にし、皆様にご満足いただけるケアや医療を提供できるように努めています。また、リハビリスタッフと協力しリハビリやアクティビティケアの充実に取り組んでいます。アクティビティケアでは患者様の生き生きとした様子や笑顔が見られ、患者様の健康の維持や認知症予防につながる援助を行っています。

回復期リハビリ病棟 中央3階



- 中央3階病棟は、回復期病棟としての根本的な取り組みの中で、特に意識をしているのが多職種との協働です。毎月のカンファレンス、毎朝の情報交換に加え、医師・看護師・セラピスト・医療ソーシャルワーカーが日常的に意見交換を行い、患者様が安心して自宅に帰れるための最適な方法を常に模索、検討しています。オレンジ色が基調の明るい棟内に負けない明るさで、意欲をもって働いています。

回復期リハビリ病棟 中央4階



- 中央4階病棟は、回復期Ⅰと体制強化加算Ⅰを取得しており、医師・看護師・看護助手・セラピスト総勢約50名で日々のリハビリテーション医療を行っています。毎日のリハビリの中で、患者様が徐々に日常生活動作の能力が向上する姿に感動するだけでなく、私たちにパワーを与えて頂いています。病棟の特徴として、認知症ケアを重点に置いたアクティビティケアを日々行っており好評を頂いています。

回復期リハビリ病棟 中央5階



- 中央5階病棟は回復期Ⅰと体制強化加算Ⅰを取得しており、整形外科、脳神経外科の急性期治療を終えた患者様が入院しています。患者様が自宅、あるいは施設へ、よりよい状態で退院できるように他職種との連携を密にして病棟全体で統一したケアができるように努めています。今年度は病棟内で各委員が勉強会を年2回実施し、病棟全体でスキルアップできるように取り組んでいきたいと思っています。

伯鳳会グループ

平成30年7月23日開催

合同防災訓練 in 尼崎



～尼崎市テロ対策パートナーシップ共催～

伯鳳会グループでは毎年、合同防災訓練を実施しています。一昨年は明石で、昨年は東京で、そして今年は尼崎で実施することになりました。昨年の東京と同様に、今回もテロ（暴動）を想定した訓練内容となりました。はくほう会セントラル病院近隣の園田競馬場で自爆テロが起こり、観戦スタンドが崩落し、多数の死傷者が出たという想定で行いました。訓練には兵庫県警、尼崎市消防局も参加し、NHKの取材も受けました。今回はその内容を紹介したいと思います。

事前準備＆打ち合わせ

防災訓練のプロジェクトチームが院内で設立されました。院内での訓練に向けた段取り等を会議で決定しながら、警察・消防との会議において、調整・連携を図りました。立場は違いますが、共に尼崎市民の安全を守るということに関しては思いは同じです。会議を重ねた結果、訓練の内容も徐々に決定し、連携して、いざ本番となりました！



AMAT隊結集

グループ内AMAT隊の結集と説明・打ち合わせを行い、その後北側ピロティーに職員が参集しました。理事長・院長の挨拶の後、各自持ち場につきました。この日は気温38℃！まさに災害レベルの酷暑の中での訓練となりました。



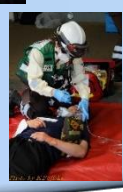
※AMAT隊とはAll Japan Hospital Medical Assistance Teamの略称であり、「災害の（急性期～）亜急性期において、災害医療活動の研修を受け、災害時要援護者※1にも配慮した医療救護活動を行なえる医療チーム」として、「防ぎえる災害関連死※2」を無くすことを主目的として活動する、全日本病院医療支援班のことを指します。

園田競馬場と病院にて訓練開始

園田競馬場にて二人組の犯人が観客スタンドを爆破し、多数の負傷者が発生。警察は犯人取り押さえや危険物処理の訓練、消防はレスキュー、救急搬送の訓練、我々は現場ではトリアージ、処置、搬送訓練、病院ではトリアージレベルごとの搬送受け入れ、処置、治療訓練を実施しました。患者役には尼崎健康医療財団看護専門学校の看護学生さんにご協力いただきました。



※トリアージとは災害時発生現場等において多数の傷病者が同時に発生した場合、傷病者の緊急度や重症度に応じて適切な処置や搬送をおこなうために傷病者の治療優先順位を決定することをいう。



無事に訓練終了

警察・消防・学生・我々で熱中症などが出ることもなく無事に訓練を修了することができました。連携体制を経験でき、課題も見つけることができ、有意義な訓練となりました。最近では地震、豪雨などの天災も続いていますので、防災意識を高め、関係機関で協力しながら、地域の安全に貢献できるように、これからも努力を続けるようにしたいと思います。この訓練の様子はNHK兵庫で当日夕方のニュースで取り上げていただきました。



「介護老人保健施設はくほう」に認知症専門棟を開設

皆さんは老健や介護の仕事と聞いてどんな連想をされますか？病院や医療ですと、医師や看護師やリハビリスタッフが病気を治すところと連想できますが、老健や介護となるとなかなか難しいのではないのでしょうか。簡単に申し上げますと、老健とは高齢の方々の憩いの場であり、安心して暮らせる施設（生活の場）です。また、在宅生活復帰への支援の場でもあります。介護の仕事とは食事や入浴や排せつ等、ご利用者様の身の回りのお世話だけでなく、ご利用者様の今後を見据えてのプランを考えたりしています。利用者様に携わることで、人を敬う心、老いを理解しやさしく包む心、命の尊さを感じる心を育むことができる素晴らしい仕事です。

老健はくほうは入所100名（うちショートステイ3名）、通所リハビリ33名の方々のご支援をさせていただいています。医師・看護師・介護福祉士・リハビリ・栄養士・介護支援専門員等のスタッフがチームとなり、多様なニーズにお応えできるよう努めています。また、超高齢化社会で増々増えていく認知症の方に対し、専門的なケアを提供するため、本年4月より認知症専門棟（20名）を立ち上げました。病院からご自宅に戻る前にもう少しリハビリを受けたい方、ご自宅での生活で不便なことが増えてこられた方など、遠慮なくご相談ください。老健はくほうが真心こめてあなたのサポートをさせていただきます。



はくほう会セントラル病院 リハビリテーション便り

営業日：月・水・金。なお、（月）は現在予定段階。
営業時間：9:00～12:15の間に3クールで入れ替え制

送迎は実施していませんので、通院して頂く必要があります。
お問い合わせはリハビリテーション部まで

通所リハビリを開始

平成30年7月より通所リハビリを開始しました。病院リハビリ室で療法士が関わることでできる介護保険でのリハビリです。1時間の短時間利用ですので、長時間のデイサービスが苦手、歌やレクリエーションは苦手、リハビリだけがしたいなどのご要望がおりの方は、一度ご相談ください。

医療のリハビリと同様の機器使用や療法士の個別リハビリを提供しながら、利用者様ごとの状態に合わせたプログラムを設定してご提案します。

**最新運動負荷試験装置（CPX）
及び自転車エルゴメーターを
導入し、心臓リハビリを充実**

当院では循環器疾患による症状を改善し、健康的な生活を送れるように最新の検査機器・リハビリ機器を使用した入院・外来での心臓リハビリを行っています。集団リハビリも毎週（金）の午後2時より実施しています。

運動の効果として

- ・運動能力が増えて、楽に動ける。
- ・将来の死亡率や再入院率の減少し、再発予防ができる。
- ・高血圧、糖尿病、脂質異常症などが改善する。
- ・狭心症や心不全の症状が軽減する。

ことが挙げられます。

当院の心臓リハビリテーションでは最新の装置を使用した検査のデータを用いて、患者毎の運動に対応するための心臓機能を分析し、適切な運動量・運動負荷を設定した運動を提供しています。もちろん運動中も心電図や呼吸、脈拍などを計測しながら運動を進めることができます。これらのデータを患者自身が確認しながらリハビリを進めることができます。



はくほう会セントラル病院 外来診療表

当院の外来診療は、平成30年5月1日より
完全予約制とさせていただきます。
初診をご希望の方は、当院までご連絡ください。

	受付開始	診療開始	受付終了
午前	8:30	9:00	12:00
午後	13:45	14:00	16:30

	午前診 9:00~12:00									午後診 14:00~16:30		
	診察室(1)	診察室(3)	診察室(4)	診察室(5)	診察室(6)	診察室(7)	診察室(9)	診察室(10)	(予約制)	専門外来		
診療科			外科	内科	循環器	脳外科	整形外科	整形外科	リハビリ			
月	心臓血管外科 山田	循環器内科 生活習慣病 舩谷	磯部	糖尿病内科 古賀	岡	上坂	川津 (再診)	高田 (初診)	—	循環器 (ペースメーカー) 弓場 (第3,4)	—	心臓血管外科 (フットケア) 山田
火	—	—	井上	米田	循環器内科 生活習慣病 舩谷	心臓血管外科 (フットケア) 山田	杉谷	濱脇	山本	内科 14:00~16:00 新名	嚥下・ 装具外来 菅	—
水	—	循環器内科 弓場	10:00~12:00 古城	米田	岡	上坂	川津 (初診)	杉谷 (再診)	山本	脳外科 吉村	—	30 内科 14:00~16:00
木	—	—	磯部	内科 アレルギー 善本	豊福	一般内科 松村	高田 (再診)	杉谷 (初診)	西村	糖尿病内科 古賀	整形外科 14時~16時 杉谷	—
金	ニューロテック 貴宝院	循環器内科 生活習慣病 舩谷	井上	内科 アレルギー 善本	岡	上坂	川津	濱脇	小倉	内科 禁煙外来 14:00~16:00 米田	—	—
土	—	—	磯部 (第1・3・5) 井上 (第2・4)	米田	豊福	—	高田	—	田中/湯浅 (第1・2・4) 菅/田口 (第3・5)	—	—	—

病院ホームページのご案内

伯鳳会グループ、はくほう会セントラル病院では、ご利用いただく全ての方々に、見やすく、分かりやすく
情報をお伝えできるように努めて参ります。



はくほうかい

ホームページ アドレス <http://www.amahakuho.jp/>

facebook

もやっています



(Facebook, Inc.)

外来エリア リニューアル

院内外来薬局の開設などに合わせて、中央棟1階の床を全面工事しました。また、中央棟と東棟の南側連絡通路も段差解消の工事を完了しました。そして、院内薬局前の東棟エレベーターホールから放射線エリアのソファベンチをリニューアルしました。

少しでも患者様に快適にお過ごしいただけるように、今後もより良い環境にしていけるように努めます。

無料送迎バスのご案内

当院では、患者様やそのご家族様を対象に、無料送迎バスの運行を行っております。来院される際には、最寄りの停車位置よりご乗車の上、ご利用ください。

※全4便運行中。便によってルートが変わります。詳細は院内掲示またはホームページにてご確認ください。



主な運行ルート

当院
↓
JR尼崎駅前
(4便のみ)
↓
老健はくほう
↓
JR尼崎駅前
↓
当院

【編集後記】

はくほう会セントラル病院の広報誌「はくほうWalker」も第3号となりました。毎号、広報誌を製作していただくことは・・・この病院？は留まることを知らないな～ということです。毎号、増床や何やらと紹介しているなど改めて思います。現状維持は何かに向かって推進していないと実はできない。現状維持を目標にすると結果は下がってしまう。少し高めの目標に取り組んでいるからこそ現状維持も叶うのかもしれない・・・そう思う今日この頃です。

はくほう会セントラル病院 広報委員会



医療法人伯鳳会
はくほう会セントラル病院
兵庫県尼崎市東園田町4丁目23番1号
TEL : 06-4960-6800 (代表)
FAX : 06-4960-6900

平成30年9月1日 発行